

クラス番号	633	担当教員名	大濱 裕
テーマ	住民参加と地域社会の自立 ～ 新たな地域の時代を求めて ～		
著書・論文 研究課題等	著書 「参加型地域社会開発の理論と実践」 ふうろう出版 2007年 「Participatory Local Social Development」 Bharat Book Center 2007年 論文 「参加型地域社会開発の基本的枠組みと視点、及び、それに基づく 評価枠組み構築にかかる研究」 国際協力機構 (JICA) 2002年 課題 : 参加型地域社会開発 (住民参加と地域社会の能力強化・システム構築)		

## ゼミナール概要

キーワード：開発3要素、地域社会システム、地域コミュニティの機能類型、変化のプロセス、経験的学習、地域自治

**(内容)** 今日、国際金融資本・多国籍企業とそれらと連動する世銀・IMF・WTOによる暴力的な「グローバリゼーション」の展開・貫徹により、世界は混迷の度合いを深め、日本においても第三世界(アジア・アフリカ・中南米)諸国においても、政治社会の混乱、経済の低迷と格差の拡大、環境破壊と異常気象による災害、地域紛争等に直面し、人類社会の未来に大きな不安が拡大してきている。

こうした状況に対し、最近では国際機関・各国政府機関・NGO/NPO・市民団体等がその問題解決に向けて「住民参加」の促進や「地域社会」への配慮を謳いながら連携・協力しつつあるが、十分な成果が実現するには到っておらず、その根本的解決への糸口すら実は見えてきていない。その理由は、端的に表現すれば、今日の開発・福祉、特に地域をベースとした支援・協力のあり方・方法論が「木を見て森を見ず、森を見て山を観ず」といった表層的な現象対応に留まり、根底にある根本原因や社会の構造機能的な能力や仕組みを看過しているに他ならない。地域社会における開発・福祉の問題解決は、「愛は地球を救う」的な「慈善(偽善)」アプローチや行政の「画一的」なサービス供与アプローチでは実現できず、同様に「小手先のツール論」に終始する住民参加では如何なる変化も期待できないことは、国内外における開発・福祉現場の経験が余すところ無く示している通りである。

このゼミでは、そうした今日の「地域開発」・「地域福祉」あるいは「住民参加型開発」の誤謬・限界を克服し、地域社会の固有な能力・経験・仕組みに基づいて地域住民と行政、NGO/NPO、地域市場等が協議・協働・連携して「自立的・持続的」な地域社会(自治)を実現してゆくための「理論・実践手法・政策」を、事例分析や現場研修と組み合わせながら、体系的に学んでゆく。その基本的枠組は「参加型地域社会開発(PLSD)」であり、現在、第三世界の54ヶ国で欧米諸国の援助理論・手法を超えるものとして採用・普及されつつあり、また、日本の地域においても長野県飯田市のように地域自治の再構築と職員の能力育成・意識変革に活用される等、地域福祉の領域でも関心が高まりつつある。また、ゼミ卒業生の中から第三世界の開発現場で活躍する専門家・青年海外協力隊員は既に13名を数え、日本の地域福祉の現場でも「参加型地域社会開発(PLSD)」の実践を試みる多くの若い人材が育ってきている。

**(方法)** 学生諸君の主体的・自発的な学習を尊重し基本とする意味で、次のような方法を採用。

- 1) 5~6名で構成される各グループによるサブ・ゼミ活動を基本とする。
- 2) 本ゼミは、教員と学生諸君とのディスカッションを基本とし、理論紹介と事例分析を組み合わせながら展開する。
- 3) アジア・アフリカ・中南米諸国の開発専門家と共に、日本の地域自治の仕組みを学ぶ。
- 4) フィリピンおよび長野県飯田市で現地研修を実施し、住民参加によるコミュニティ開発および行政連携の実践手法を学ぶ。

**(対象となる学生)** 広く第三世界諸国および日本の開発・福祉問題に関心を有し、将来、海外・日本の現場で専門家・NGO/NPO職員・ボランティア・地域福祉従事者として、貧困・環境・福祉等の諸問題解決に参加・従事することを願っている学生が最もふさわしい。また、型に填まらない独自の生き方を模索している学生諸君、生命の大切さとその深い意味を真剣に考え、人生の指針を得ようと積極的に努力している学生諸君とは、共に酒を酌み交わし語りあいたい。

**(履修上の注意)**

- 1) 履修希望者は、「住民参加と地域開発 / 地域福祉」について自分の考えを2000字程度にまとめ、「希望表」と共に提出して下さい。レポートでの作成をお願いします。
- 2) ゼミ活動に主体的に参加し、仲間と共に課題に取り組んでゆく意欲・根性が不可欠です。  
「天は自らを助ける者を助く」デス!!!
- 3) 社会的常識・マナーを心得ない方は、ご遠慮下さい。

使用テキスト：大濱裕 著 「参加型地域社会開発の理論と実践」 フクロウ出版 2007年

ピーター・ホルダー著 「国際開発入門」 築地書館 1993年

大濱裕 編著 「貧困問題とその対策：地域社会とその社会的な能力育成の重要性」 JICA 国総研 JR95-15 等

## 担当教員からのメッセージ

私のゼミは、とにかく「よく遊び、よく学び」ます。学年や学部の枠を越えて、卒業生達とも交流し、また、地域の方々や、海外からのPLSD研修員達と共に、現場の経験から考え学んでゆく「学習」を展開しています。この知多半島にドッカと腰を据えて、地域を、日本を、アジアを、そして、世界を共に論じてゆきませんか。